

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月21日

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	6名	9名	1名	0名	16名/16名

前回の改善計画
・短期間でのサービス開始や情報量が十分でない初期支援については、記録に加え、細かい内容を口頭で申し送る等、支援のばらつきが生じないように努める。 ・初めて介護サービスを利用する方は、まず関係性の構築に力を入れ支援を行っていく。
前回の改善計画に対する取組結果
初回の関わりを他職員に情報伝達し、次の支援に繋げる事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5名	10名	1名	0名	16名/16名
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5名	10名	1名	0名	16名/16名
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5名	10名	1名	0名	16名/16名
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりの為に配慮をしていますか?	5名	10名	1名	0名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
・口頭、あるいは書面等を職員間で情報の共有ができた。 ・初回利用時には積極的な声掛けを行い、利用者が不安にならないように心掛けた。 ・事前に自宅へ伺う事ができた利用者もあった。必ず同行訪問を行い、利用者が職員の顔を知ってもらう機会を作れた。 ・家族にも通い時の様子を伝え安心して頂いた。	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用契約から開始までの期間が短く、関係作りに苦慮した。 ・サテライト事業所からの急な泊まりでのサービスに不安があった。 ・初めての泊まりなどは夜間の様子が見えず利用者も不安な様子もあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・タブレットの連携を早期に行い基本情報の把握に努める。 ・サービス前の情報をケアマネージャーから積極的に発信。初回利用の糧とする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年9月21日
------------------	-----	-----------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	16名
---------------------------	------	-----

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3名	6名	6名	1名	16名/16名

前回の改善計画
・まずは、「本人がどうしたいか」や生活の中の小さな「～したい」を大切に考え、「暮らしの情報シート」への記入を行い情報の共有を行い全体での支援に繋げる。
前回の改善計画に対する取組結果
・小規模ミーティングにて利用者のニーズを会議間で評価した。 ・「暮らしの情報シート」において紙ベースからタブレットに移行する事で閲覧のハードルを下げた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3名	10名	2名	1名	16名/16名
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5名	8名	2名	1名	16名/16名
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりができていますか?	4名	8名	3名	1名	16名/16名
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3名	10名	2名	1名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を再確認することで支援に繋がった ・タブレットの中に「暮らしの情報シート」があり都度確認する事が出来るようになったり記入しやすくなった。 ・本人が発した言葉を○印を付けルールを取り決め、積極的に残す事ができた ・利用者の希望に応じた(歌を歌いたい)に関わりができた。 ・ミーティングや昼礼での発信ができた 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・新たに得た情報が【暮らしの情報シート】に追加としての記入が少なかった。見直す事ができなかった ・認知症の方や失語症の方への支援が難しかった 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしの情報シート」の定期的な見直し(記載日の明記等) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月21日

3. 日常生活の支援

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7名	5名	2名	2名	16名/16名

前回の改善計画	<p>・「暮らしの情報シート」の記録をタブレットでの記録に変更し情報量の増加、活用を促す。</p>
前回の改善計画に対する取組結果	<p>・紙ベースからタブレットに移行出来た。 ・利用者との関わりの際、知りえた情報を活用することにより会話の内容に深みを持たせられた。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1名	9名	5名	1名	16名/16名
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排泄等々の基礎的な介護ができていますか?	7名	9名	0名	0名	16名/16名
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	6名	7名	2名	1名	16名/16名
④ 本人の気持ちや体調の変化に気付いたとき、その都度共有していますか?	8名	6名	2名	0名	16名/16名
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6名	9名	1名	0名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・日々の気持ちの変化や体調をミーティングや昼礼で職員間で共有を図った。また、情報の発信ができ ・体調に合わせた支援ができた。 ・気持ちや発した言葉など注視してもらいたい記録に対しては丸印を付け分かりやすくした。 ・情報の共有ができ、急変時の対応もしっかりと身についてきている。 ・各担当がタブレット内に「暮らしの情報シート」の移し替えを行い直ぐに見れるようにした</p>	
できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・支援内容ばかりの記録も多かった。 ・暮らし情報シートを見直す事ができなかった。 ・支援記録だけで満足してしまっていた。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・日々の記録から「暮らしの情報シート」に記載できる内容は積極的に転記する。 また記録だけに終わらずに、確認した内容を会話、支援に取り入れ、情報を確かなものとする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月21日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	3名	6名	3名	4名	16名/16名

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域啓発活動については、全職員が持ち回りで担当し、主体的に取り組むを行う。
前回の改善計画に対する取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員ではないが持ち回りで参加は出来た。 ・介護ミニ講座、こよし会等啓発活動の定期的な開催、参加ができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	4名	9名	2名	1名	16名/16名
② 本人と、家族・介護者や地域との関係がきれないように支援していますか？	6名	5名	4名	1名	16名/16名
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	3名	8名	4名	1名	16名/16名
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2名	8名	4名	2名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な資源の活用でより良い生活を送れるよう活用できた。 ・こよし会や民児協の参加等で地域等の関わりも少しずつ増えている。 ・民生委員様からの情報提供もあった。 ・地域啓発ミーティングへの参加ができた。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域啓発ミーティングに参加できなかった職員もいた。 ・本人の回りの関係者との関わりを聞き取りが不十分だった。 ・家族との関係性の構築は出来ているが本人の気持ちを汲み取れていない部分もあった。 ・家族の介護負担を重視してしまった。 ・全職員が地域啓発ミーティングに参加できなかった 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動(こよし会、民児協ミニ講座、お茶のみ会)の定期的な開催の継続 ・順番に職員の参加を調整し、センター全体で顔なじみになれるような関係性作りを行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月21日

5. 多機能性のある柔軟な支援

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	5名	9名	2名	0名	16名/16名

前回の改善計画
本人の強み(良い点)や潜在的ニーズや気持ち、又その変化に気付けるよう日々の関わりを積極的にもち記録し共有を図る。
前回の改善計画に対する取組結果
・記録において①注視すべき事柄②利用者の共有すべき言動等を一目瞭然できるようマークをつけ状態把握に努めた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支援しようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	7名	7名	1名	1名	16名/16名
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9名	7名	0名	0名	16名/16名
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有する事ができていますか？	8名	7名	1名	0名	16名/16名
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	9名	6名	1名	0名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態に合わせ、追加の訪問や泊まりの対応ができた。 ・昼礼でその日、その日の利用者の情報交換し共有できた。 ・記録の工夫を行い情報共有できた。 ・にやりホットの記録を増やせるようにケアの視点の持ち方を変えた。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の日々の変化や様子のみ重視してしまい、内に秘めた能力や問題の引き出しができなかつ ・本人の強みやニーズを違う視点での気づきができずアプローチに繋がらなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の日々の変化に気づき、昼礼、ミーティングで職員間で共有。情報の共有方法をタブレットの活用、紙媒体など状態に応じた共有方法を工夫する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年9月21日
6. 連携・協働	メンバー	16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3名	5名	3名	5名	16名/16名

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議、担当者会議、地域との交流の機会に全職員が主体性を持って取り組み、参加する。
前回の改善計画に対する取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・各会議に輪番制で参加できている。尚、参加できていない職員も随時参加予定。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2名	3名	0名	11名	16名/16名
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2名	4名	0名	10名	16名/16名
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2名	4名	1名	9名	16名/16名
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2名	4名	3名	7名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・医師、訪問看護との連携をタブレットで行って、記録を共有している事でスムーズに本人の状態確認が出来る。 ・地域包括支援センターからの新規紹介にて利用開始に結び付けた事例もあった。 ・広報誌、ミニ介護講座、こよし会(地域サロン)等継続して行っている。 ・利用者が日常で活用している交番、包括、コンビニ等への協力体制のお願いを行った。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関との連絡等はケアマネージャーが主となり行われている。その為他職員が携わる機会が無かった。 ・SC千手の地域交流スペースの利用は増加しているが以前よりは減少している。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関に関わる際、可能な限りケアマネージャー以外が携わるよう業務分担をする。 ・地域交流スペースの宣伝を行い、活用につなげる。 ・介護職員の運営推進会議への積極的な参加。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年9月21日
7. 運営	メンバー	16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4名	5名	2名	5名	16名/16名

前回の改善計画
・コロナ禍を経て地域交流が再開し「こよし会」「民児協でのミニ研修会」の活動の充実を図る。また、全職員が参加し地域の声に触れ、少しでも顔を知ってもらう機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組結果
・地域に職員が出向くことで地域の生の声を聴く絶好の機会になった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 事業所の在り方について、職員として意見を言うことができますか?	4名	3名	6名	3名	16名/16名
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5名	5名	4名	2名	16名/16名
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5名	7名	2名	2名	16名/16名
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と共同した取り組みを行っていますか?	5名	5名	3名	3名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域やご家族から頂いたご意見、要望等反映に結び付けている。 ・こよし会(地域サロン)、ミニ介護講座を毎月開催している。多数の開催を行う事で職員の顔を覚えて頂いた。 ・参加出来なかった職員も会議録を参照したり事業所内で研修を行えている。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流や会議等に参加できなかった職員もいた。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の地域啓発活動ミーティングの開催を行い、職員の地域発信への違憲確認の場を持つ。 ・地域啓発活動の参加者のニーズ、サポートセンターの求められているものを確認するためにアンケートの実施を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年9月21日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	3名	5名	7名	1名	16名/16名

前回の改善計画	<p>・日々のケアの中で、ご利用者の強みに気づける視点を持ち「にやりほっと」の記録を増やす。</p>
前回の改善計画に対する取組結果	<p>・今年度のにやりほっとの記録数は飛躍的に向上している。又、フォーマットを他部署の移動職員から指南。見やすさの向上にも努めている。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか？	3名	6名	3名	4名	16名/16名
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	2名	2名	4名	8名	16名/16名
③ 地域連絡会に参加していますか？	2名	0名	3名	11名	16名/16名
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか？	4名	7名	4名	1名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・タブレット記録にて「にやりほっと」(日常の記録にて利用者のちょっとしたお褒め行動や共有したい行動)を積極的に記載している。件数も軒並み増えている。</p> <p>・「ひやりほっと」(事故までは行かないが飛躍すると事故になりかねない事案)を職員間で共有。それにより発生を防げたケースもあった。</p>	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・「にやりほっと」がただの記録として終わってしまう。</p> <p>・「ひやりほっと」の記録から類似したひやりほっとや同案件の事故が発生する事もあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・共有すべき「にやりほっと」があった際、重大な「ひやりほっと」が発生した際はタブレット画面で常時表示される設定を行い意識を強化する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年9月21日
9. 人権・プライバシー	メンバー	16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	6名	7名	3名	0名	16名/16名

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアの場面で多く聞かれる「ちょっと待って下さい」だけでなく、待っていただく理由の説明をし「〇〇していただけますか?」と相手に判断を委ね、尊厳を重視した言い方にする。 ・個人情報、プライバシーに関わる情報交換をする際の方法の見直しを行う。
前回の改善計画に対する取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックの大幅な減少に加え、咄嗟に出してしまった場合、お互いに注意し合える環境作りが出来た。 ・情報交換する際の利用者配慮の意識改革。(まだ足りない部分あり)。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束していない	12名	4名	0名	0名	16名/16名
② 虐待は行われていない	14名	2名	0名	0名	16名/16名
③ プライバシーが守られている	8名	7名	1名	0名	16名/16名
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	5名	4名	4名	3名	16名/16名
④ 適正な個人情報の管理ができている	9名	7名	0名	0名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報、プライバシーの保護、虐待、身体拘束(スピーチロック)は職員間でも関心があり、日々の業務に反映できている。 ・事業所内での接遇の研修は定期的に行われており学ぶ機会を多く作っている。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りや職員間の情報伝達等、利用者に聞こえる声量で行ったりと配慮が足りなかった。 ・利用者の度重なる行動、言動にてついスピーチロックを使ってしまった。(なれなれしい言動等) 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り、情報伝達時に個人情報、プライバシーが守れるような伝え方を工夫する。 ・スピーチロックを使用する前に関わる職員同士で連携を図る。 	